

## 今月の題字 中島恒夫さん

(桐生市新里町)

創立50周年を迎えた「わたらせ養護園」の施設長さん。広報紙「とんがりやね」を読んでいると、子どもたちへの温かい愛情が伝わってきます。

虹の架橋は足利屋・さくらもーるアスクが毎月1日発行する地域新聞です。

## 第261号

平成29年5月1日発行

企画・編集 松崎 靖

発行 (株)足利屋洋品店

みどり市大間々町4-1380 (〒376-0101)

Tel 0277-73-1212

Fax 0277-70-1066

# 虹の架橋

虹の架橋

検索

で、インターネットからでもご覧いただけます。

ながめ余興場改修二十周年特別企画として、富士路子さんと東家若燕さんをお迎えして「富士路子浪曲の世界」を開催いたします。

浪曲は浪花節とも呼ばれ、三味線を伴奏に七五調の歌う部分（節）と語り（啖呵）を持つている笑いと涙溢れる大衆芸能です。ながめ余興場地下の展示室には東家浦太郎、三門博、伊丹秀子など歴代の日本浪曲協会会長や大御所がながめの舞台を踏んだ時のチラシも残されています。現在の日本浪曲協会の会長でもある富士路

ながめ余興場改修二十周年特別企画として、富士路子さんと東家若燕さんは、水乃金魚さんの三味線で忠治閣宿を演じます。ながめ余興場は昭和十二年に建てられた木造二階建ての芝居小屋で今年は創立八十周年、改修二十周年の節目を迎えます。ながめ黒子の会では節目の年に相応しいイベントを開催していますのでご期待下さい。

「Vの風景」と題する写真は、遠くに赤城山が見える風景でその場の空気が伝わってきます。「ぐるつべ風景」では今年も恒例の写真展が開催されます。期日は五月三日から五月五日まで。会場は大間々町五丁目クラブ。十五名の会員の素晴らしい写真を今年も是非ご覧下さい。お問合せは黒内代表(090-4828-5675)

世界一小さな定利屋トイレ美術館 今月の写真《261》

みどり市出身の漫画家・おはしながめ「あい・ターン①」を読んだ。超面白い。マンガの題名のアイターンとは、都会出身者が地方に職を求めて定住すること。

「あい・ターン」の舞台は群馬県「お花の形の夢里村」。主人公の港明は二十才。田舎暮らしに憧れて古民

の形の夢里村で、主人公の港明は二十才。田舎暮らしに憧れて古民

の形の夢里村で、主人公の港明は二十才。田舎暮らしに憧れて古民